

感染拡大予防のための感染症対策

令和3年9月30日

函館地区バスケットボール協会 U15 部会

大会役員(運営者)

- (1) 本大会は無観客試合とし、申込期限までに事務局に報告された選手及びチームスタッフ、審判員やマンツーマンコミッショナー等を含む参加者で、以下の必要書類を提出し、**JBA から付与された ID または本大会で使用できる ID を携行した**場合に限って、各会場内への入場を認める。
選手…「参加同意書」及び「健康チェックシート」
スタッフ・帯同審判員・マンツーマンコミッショナーを含む大会役員…「健康チェックシート」
- (2) チームには、**感染症対策担当者を1名設置し、その者が各チーム担当の受付担当として、各チームの選手及びチームスタッフ全員の必要書類を確認し、問題がないことを確認した上で入場させ、役員控室に提出する。翌日以降に試合がある場合、健康チェックシートのみを持ち帰り、翌日以降の入場時までには体温や大会前2週間の健康状態を記入できるよう各チームへ指示を行う。**
- (3) チーム帯同以外の審判員および大会役員は「健康チェックシート」を役員控室に提出し、翌日以降に試合がある場合はそれを持ち帰り、翌日の入場時までには記入する。
- (4) 各会場責任者は、控室に提出された「参加同意書」や「健康チェックシート」(敗退チーム分のみ)を集約し、翌週までに事務局に提出する。(方法・タイミングについては要相談)
- (5) 試合会場入口には、主催者が用意したアルコール消毒液を設置する。
- (6) 会場内に入るときは、主催者が用意したアルコール消毒を使用し、選手及びチームスタッフ、審判員やマンツーマンコミッショナーを含む運営者は全員アルコール消毒を行う。
- (7) ハーフタイム及び試合間のインターバル中に、会場責任者またはその代理の者は、体育館の窓を開け、積極的に換気を行う。試合中も影響が少ないと判断した場合も適時換気した状態とする。また体育館入口を開放しても試合に影響がないと判断した場合は、体育館入口も開放し、十分に換気する。また主催者が用意したアルコール消毒液を使用し、ボールおよび T0 席、トイレ、水飲み場の消毒作業を行う。
- (8) ハーフタイム及び試合間のインターバル中に、各チームは、持参するアルコール消毒液を使用し、手指や選手席の消毒作業を行う。
- (9) ベンチ入りしているチームスタッフは、マスクまたはフェイスシールドを着用し、試合中の審判員以外の大会関係者はマスクを着用する。

チーム及び選手

- (1) 「参加同意書」及び「健康チェックシート」を提出した選手に限り、会場に入場し、大会に参加できる。プログラムに記載している順番通りに並べ、各校の受付担当に提出する。
- (2) 選手同士のハイタッチや握手等、プレーに関係のない接触はしない。
- (3) タオルやボトルを共有せず、個人のものを使用する。
- (4) チームで消毒液を携帯し、試合前、試合中、試合後に手指の消毒をする。
- (5) T0 を担当する選手は、必要最低限の人数とし、手指の消毒をし、マスクを着用する。T0 で使用する文房具は、各チームで準備する。
- (6) 選手は、試合中及びアップ中以外マスクを着用する。※ベンチ内や交代席では着用する。
- (7) 手洗い後は、個人のハンカチまたはタオルで手を拭く。
- (8) 試合前後のミーティングは時間をかけず、適切な距離をとって行う。